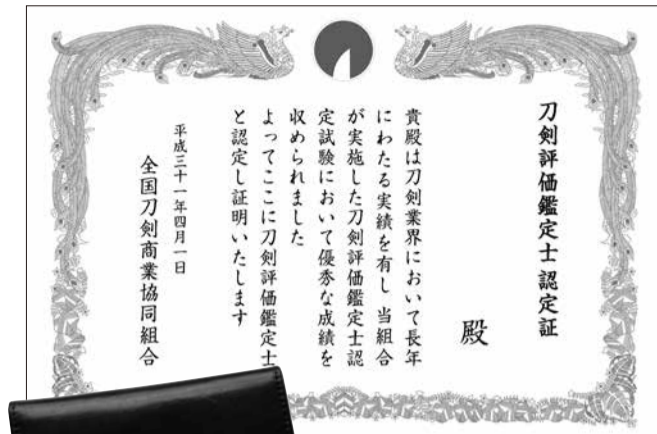


「刀剣評価鑑定士」の認定証(見本)と資格者証入れ



平成三十一年四月一日
全国刀剣商業協同組合

貴殿は刀剣業界において長年にわたる実績を有し、当組合が実施した刀剣評価鑑定士認定試験において優秀な成績を収められました。よってここに刀剣評価鑑定士と認定し証明いたします。

「刀剣評価鑑定士」認定証は、民間で施行されているさまざまな資格制度の効用を受け、刀剣商の社会的信頼と地位の向上を目指す事業である。日本刀などの評価鑑定に十分な知識と経験を有する刀剣商であることを当組合が認

四月十七日の第一回認定試験実施を嚆矢として「刀剣評価鑑定士」の資格認定制度が、いよいよスタートする。

定し、この資格の認知・普及を重ねることにより、お客さまから一層信頼され、安心して取引が行われることが期待される。公式な発表は平成二十七年にさかのぼる。刀剣商の専門性や信頼性を公的に示す資格制度を組合で主導することはできないか、執行部で意見交換を重ね、同年十月の理事会に議題として上程された。審議の結果、その場において理事を中心とする「刀剣評価鑑定士」実行委員会が発足、以後具体化に向けて細部が詰められていった(その後認定委員会に移行)。

資格認定事業に取り組んでいくことが承認可決された。一方、本紙においても逐次記事に取り上げてきた。第28号(二十八年三月)の「風向計」で資格社会における刀剣業界のあり方について関心を喚起したのを皮切りに(第37号・第42号でも)、第30号「刀剣評価鑑定士認定事業について」「刀剣評価鑑定士資格認定制度に寄せて」、第34号「分野別問題作成作業急ピッチで進む」、第35号「刀剣評価鑑定士早わかりQ&A」、第37号・第43号「刀剣評価鑑定士実行委員会紹介」と続き、試験問題例も五回(第36号・第37号・第38号・第40号・第41号)にわたって紹介してきた。そして、昨年三月発行の第40号で清水理事長が「刀剣評価鑑定士認定事業の開始に当たって」を宣言したのである。

実際の試験問題が本資格の趣旨に照らして適正か否かは最も重要なポイントであるところから、作成に殊に多くの時間を費やし、慎重を期した。各委員が作成した問題を幾度も相上りこのぼせ、推敲を重ねた。また、公益財団法人日本美術刀剣保存協会・公益財団法人日本刀文化振興協会・一般社団法人日本甲冑武具研究保存会には監修を依頼するとともに、関係機関に働きかけ、本資格の公共性がさらに高まるよう努力を続けてきた。

その間、「刀剣評価鑑定士」公開模範試験を三回実施し、約百名の方に受験を体験していただいた。この結果を基に改善に努め、四月十七日と六月十七日の二回の本番を迎える。

本資格制度の発足に当たって、組合執行部および実行委員会は万全を期すべく検討を重ねてきた。しかし、理想の追求に尽きるころはない。事実、基本の仕組みに対しても組合員・賛助会員からさまざまな要望が寄せられている。それらにいかに対応するかは、今後の課題である。組合当局としては少しでも多

第二回4月17日・第二回6月17日に試験実施 「刀剣評価鑑定士」資格認定、三年余の準備を経てスタート



NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL
2019.3.15 No.46
発行人 清水 儀孝
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentosho.com/

第46号編集担当 赤荻 稔 飯田 慶雄
伊波 賢一 大平 岳子 大平 将広 木村 義治
佐藤 均 嶋田 伸夫 清水 儀孝 生野 正
瀬下 明 土子 民夫 網取 譲一 土肥 富康
服部 暁治 松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏
編集顧問/ 深海 信彦

資格認定事業担当 赤荻 大西 康一 飯田 久
伊波 賢一 大平 岳子 大西 康一 木村 義治
佐藤 均 嶋田 伸夫 嶋田 伸夫 清水 儀孝
生野 正 瀬下 明 土子 民夫 網取 譲一
土肥 豊久 服部 暁治 深海 信彦 松本 義行
冥賀 吉也 持田 具宏 吉井 唯夫

ことを切に願う。

「刀剣評価鑑定士」資格認定事業が組合関係者のためのみの「刀剣評価鑑定士」にとどまらず、日本刀に対する知識や自利自利度・信頼度を広く一般に示す公的な資格への布石となること、ひいては日本刀の理解者・愛好家が世界中に増えることを目指してゆきたいものである。

未来をつくるための第一歩はわれわれ次第なのである。
「刀剣評価鑑定士」認定委員会
第二面に規約・受験要項を掲載

彬子女王殿下、日刀保たたら操業をご視察

公益財団法人日本美術刀剣保存協会

彬子女王殿下には日本刀文化への思い召しが高く、たたら事業にも深いご理解を頂いております。昨年十一月の刀剣博物館の移転記念式典、十一月の全国大会にもお成りを賜っております。

人日本美術刀剣保存協会の酒井忠久会長ほかがお出迎える中、ご自身が総裁を務められる一般社団法人心游舎の方々とともに到着され、午後五時過ぎから高殿内にて木原・渡部両村下以下、村下養成員らの操業の様子をご視察されました。また、女王殿下ご自身での砂鉄の投入も、体験されました。

日刀保たたらには、幾度もお成りを頂いておりますが、去る二月八日と九日の両日、平成最後となる日刀保たたら操業をご視察いただきました。また、同日程で山田宏参議院議員・長尾敬衆議院議員も視察されました。

女王殿下には、八日、公益財団法人日本美術刀剣保存協会の酒井忠久会長ほかがお出迎える中、ご自身が総裁を務められる一般社団法人心游舎の方々とともに到着され、午後五時過ぎから高殿内にて木原・渡部両村下以下、村下養成員らの操業の様子をご視察されました。また、女王殿下ご自身での砂鉄の投入も、体験されました。



燃え盛る炉に砂鉄を投入される彬子女王殿下

紅葉の木を眺めながら、時間をかけて完成した鋳を高殿から運び出す「鋳出し」の作業をご視察いただき、その後は粉雪が舞う中、操業や今年の出来映えについて黒滝たたら伝統文化課長や木原村下に熱心に質問しておられました。

刀剣 高吉
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!
連絡先 090-8845-2222
代表者 高島吉童
東京都北区滝野川7-16-6
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

刀剣・書画・骨董
和敬堂
土肥豊久・土肥富康
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511
http://wakeidou.com/

美術刀剣・刀装小道具商
やしま 齋藤雅稔・隆久・隆洋
刀装小道具通信販売目録「やしま」
年間10回位発行予定
購読料10回 2,000円(郵便切手可)
〒202-0022 西東京市柳沢6-8-50
TEL 042-463-5310
FAX 042-463-7955

町田久雄
埼玉県秩父市野坂町一十六六一
西武秩父駅連絡通路町久ビル内
TEL 0494-1-3130
FAX 0494-1-3130

大阪刀剣会
吉井唯夫
大坂市中央区日本橋二一七一
TEL 06-6631-1211
FAX 06-6644-5464

「刀剣評価鑑定士」資格認定試験受験要項

1. 受験資格

認定試験受験資格は、以下の組合員ならびに賛助会員とする。

- ①組合加入期間が5年以上の組合員もしくは賛助会員で、古物商許可証もしくは美術品商許可証取得後5年以上の経験がある者。ただし組合加入期間が5年以上の法人組合員で、5年以内に代表者名義の変更があった場合はこの限りでない
②上記について、組合員の要望を踏まえ、次年度以後に見直すこともあり得る

2. 試験の実施

①受験申込書・受験票など

古物商許可証または美術品商許可証のコピーと顔写真(縦2.5cm×横2cm)2枚を添えて所定の期限までに申し込む。確認後、受付印を押印し、組合から受験料領収証とともに顔写真貼付の受験票を送付する

②受験料 10,000円(所定の期限までに払い込む。欠席者・不合格者であっても返金しない。金額は以下、全て消費税込み)

③試験会場 東京美術倶楽部(組合交換会の隣接会場)

④出題内容

- 1)刀剣の基礎知識、2)刀装・刀装具の基礎知識、3)甲冑・武具の基礎知識、4)作刀の基礎知識、5)刀職の基礎知識、6)評価・鑑定の基礎知識、7)銃砲刀剣類所持等取締法ほか関係法令・通達、8)古物営業法、9)その他法律(特定商取引法・消費者契約法など)・通達、10)その他

⑤出題形式 二肢択一方式

⑥出題数 100問

⑦試験時間 60分

⑧試験合格点 80点(認定委員会で検討し最終認定する)

3. 認定料・更新料等

①認定料 30,000円(認定証・資格者証・資格者証入れ含む)

②更新手数料(5年後) 20,000円

4. 認定者発表

①試験後1週間以内に本人宛認定通知を行う

②『刀剣界』第48号(7月中旬発行)に第1回と第2回の認定者をまとめて発表するとともに組合ホームページに掲示する

5. 認定証等の発行

①認定証・「刀剣評価鑑定士」資格者証・資格者証入れを発行する

②認定者発表後1カ月以内に発

行する。ただし、本年は第1回・第2回の認定者に対して7月中旬までに同時発行する

6. 試験実施の手順

- ①試験開始指定時間30分前までに会場に入り、受付手続きを行う
②机上所定の位置に受験票を置く
③筆記用具類は持参のこと
④参考書や機器類の持ち込みは禁止。携帯電話は試験監督者の指示に従う
⑤試験開始から30分が経過したら、退場可。その際、解答用紙と受験票を回収する
⑥正解は退場時に配布する

7. 受験場の順守事項、不正行為等の規定

受験者は本規定、受験等の注意等、および試験監督者の指示を守らなければならない。本試験実施中に受験者が次各号に掲げる行為を行った場合には、本試験を受けることができないか、資格認定の対象外とする。具体的な注意事項については、試験開始前に試験監督者が口頭で説明する。

①試験を開始する時間までに受験会場に入場しない場合。ただし、開始後20分以内に入場した場合には、試験監督者の判断により受験を認める場合がある

②試験監督者の承認を受けずに受験会場を退場した場合

③本試験の進行を妨げ、他の受験者を妨害する行為を行った場合

④受験票を携帯していない場合、および指示に従って受験票を掲示しない場合

⑤カンニング行為等不正な方法で解答した者と、試験監督者が認めた場合

8. 個人情報

本資格認定事業に関する個人情報について、個人情報保護法および関係法令、ならびに当組合が別に定める規定に従って、適切に取り扱う。

9. 実施スケジュール

①第1回認定試験 4月17日(水)

②第2回認定試験 6月17日(月) 各回とも午後3~4時(受付開始2時30分)

10. 申込締切

①第1回認定試験 3月末日

②第2回認定試験 5月末日

※「刀剣評価鑑定士」認定試験関係書類は、組合員・賛助会員の皆さまには受験申込書等も含めて既にお送りしていますが、追加ご希望の方は事務局までご連絡ください。なお、3回にわたって実施した公開模擬試験の問題・解答集(千共1,000円)をご希望の方は、同じく事務局までお申し込みください。

「刀剣評価鑑定士」資格認定事業規約

(名称)

第1条 本組合が本事業において認定する資格を刀剣評価鑑定士と称する。

(目的)

第2条 本資格は、刀剣商として必要な知識・技能を明らかにし、その向上を図るとともに、刀剣の評価・鑑定に関する必要かつ十分な能力を認定する事業を通して、組合員ならびに本組合の社会的信頼と地位の向上を図り、もって刀剣の普及と発展に寄与することを目的とする。

(基本方針)

第3条 本組合は、本資格認定事業の運営について、この規約ならびに別途定める規程等により、公正かつ厳正に実施する。

(資格認定委員会)

第4条 本事業を継続して運営するために刀剣評価鑑定士資格認定委員会を設ける。

2. 資格認定委員会は、理事会が任命した委員で構成される。

3. 資格認定委員会は、次の業務を行う。

- (1)本資格の普及に資するテキスト等の作成と頒布
(2)講習会等の実施
(3)認定試験問題の作成と実施
(4)有資格者の認定と解除
(5)その他必要な業務

(資格認定試験)

第5条 本資格認定試験の実施

にかかる受験手続き・日時・会場等については、資格認定委員会において資格認定試験実施要項として別途定める。

(資格者証)

第6条 本組合は、資格認定者に対して刀剣評価鑑定士の資格者証を発行する。

2. 刀剣評価鑑定士は資格者証を携帯し、刀剣評価鑑定業務に際しては資格者証を提示しなければならない。

(資格の更新)

第7条 本資格の有効期限は取得から5年とし、資格を継続するには更新手続きを行わなければならない。

(資格の停止・解除)

第8条 本資格者のやむを得ない事情により、または本資格者が本資格の趣旨を著しく逸脱したと認められる場合、理事会は本資格を停止し、または解除を求めることができる。

(手数料等)

第9条 本資格に関わる受験料・認定料・更新料等は有償とする。それぞれの金額については、理事会において別途定める。

(その他)

第10条 この規約ならびにその他の規程等に定めのない事項であって、必要な事項は、理事会において協議し、決定する。

付 則

この規約は、平成31年2月17日から施行する。

第二回「全刀商特別交換会」を開催

そろそろ正月気分も抜けてきた一月十七日、東京美術倶楽部において当組合主催の特別交換会が開かれました。昨年に引き続き、二回目となる催しです。時節柄厳しい寒風の中、招待客も含め六十七名が参加されました。特別交換会ということで、九時



活発な取引が続く組合特別交換会

四十五分に売り番抽選が行われ、十時開始です。開会に先立ち清水理事長の挨拶があり、嶋田専務理事から招待客の紹介、運営上の諸注意の説明の後、競りがスタートしました。今回は出品数が非常に多く、組合からの出品も「大刀剣市」での買い入れ品を含めてかなりの数に上りました。例によって組合出品の生ぶ荷は最後に登場したので、最後の一品まで熱気が冷めませんでした。全ての取引が終了したのは三時半を過ぎていました。当然、取引高も伸びました。私たちの業界がやや低迷の続く中、活況を呈したの喜ばしいことです。皆さまのご協力、ありがとうございます。(赤荻稔)

アオバ企画(株) 高橋一. 東京事務所: 〒113-0012 大平四丁目1-12. TEL: 03-3611-1111. FAX: 03-3611-1111. aobak@pj8.so-net.ne.jp

刀剣・小道具・甲冑武具 飯田高遠堂. 代表取締役 飯田慶雄. 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-17-33. TEL: 03-3951-3312. FAX: 03-3951-3615. http://www.iidakoendo.com

(株)美術刀剣松本 松本富夫義行. 〒278-0043 千葉県野田市清水199-1. TEL: 04-7122-1122. FAX: 04-7122-1950. www.touken-matsumoto.jp

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑 日本刀剣 伊波賢一 Ken-ichi Inami. 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1. TEL: 03-3434-4321. FAX: 03-3434-4324.

銀座日本刀ミュージアム 泰文堂. 〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-16 岩月ビル2階. 代表 川島貴敏. TEL: 03-3289-1366. FAX: 03-3289-1367. http://www.taibundo.com

刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、記事を募集しています。ニュースや催事情報、イベント・レポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。

「登録証問題」を考える 17

事例 26

昭和二十六年の埼玉県発行の登録証が付いた鎌倉時代の生茎在銘の太刀を購入し、すぐにお客さまに買っていただきました。

昭和三十年代に重要刀剣に指定され、現在は特別重要刀剣になっているもので、当時からこの登録証が付随しており、また江戸時代の見事な大名家伝来の打刀拵が付いています。

お客さまが所有者変更届を出す時、埼玉県の教育委員会から「台帳と相違するので所有者変更届は受理できない」との連絡があり、その結果「返品したい」との申し出を受け、代金の数千万円はやむなくお返ししました。

そこで、登録証のカラコピーを郵送後、埼玉県の教育委員会へ電話連絡すると、担当者は「昭和二十六年当時の当県の登録証の様式とは違つ」と言われ、「どのようなところが違つのか」と聞いても教えてくれなかった。「どうすれば良いのか」と質問すると、「所轄の警察所へ行って相談してみてください」と言われてしまった。

登録証に偽臭はなく、現物審査と登録証の確認をお願いしたが受け付けてもらえず、翌日、居住地の教育委員会へ連絡を取り相談した。そこから最寄りの警察署へ事前に連絡を入れ、このような登録証問題が多いことも伝えてもらい、その後、私が所轄の警察署へ出向きました。

今回の経緯と、このような案件が少なくないことをあらためて担当官に話すと、担当官は本庁へ連絡し、本庁からの指示の下に対応してくれました。

することはできないため、警察署へ一時預けることになり、警察官が私の所へ来て書類を作成後、預かっていただきました。後日、入手経緯などの詳しい調書が作られた後に、この太刀が犯罪性がないかどうかを調べるので、時間がかかることを告げられました。

半世紀も前からこの太刀に付いている登録証にどのような経緯があったのかを調べなければならぬ担当官も大変なご様子。実際、日々の業務で忙しい中、重要刀剣への申請者や私の購入元へ連絡を取るなど、一つ一つ真実かどうかを調べたようです。

数カ月後、事件性がないと判断されました。その上で、当地の教育委員会から全国の各教育委員会へ照会をかけるため、刀剣登録審査日に警察官が太刀を持参し、登録証と太刀の現物審査が行われました。警察の要請で、私も当日の現物審査に立ち会いました。

埼玉県教育委員会からは台帳の写しが届いていました。長老の審査員が台帳と太刀、登録証との照合を行いました。その結果は、銘文・長さ・反り・目釘穴数、すべて同じであり、登録証の種別が「太刀」となっているのに対して台帳記載が「刀」とある点だけが違つたことでした。登録証に書かれた書体を見て、「これは〇〇先生の文字だ。種別を書き間違えたんだろ」とつぶやかれた。付随する打刀拵が素晴らしかったために、台帳へ「刀」と誤記した可能性が考えられました。

ここで不可解なのは、埼玉県教育委員会の担当者が何故、種別だけ違つたものを、現物審査を受け付けずに、警察署へ行くよう指示を出したかである。種別だけの相違

であれば、まずは現物確認審査が適当であると思う。このような登録証の問題は、今後何万件、何十万件と出てくるのが予想される。各都道府県の教育委員会の担当者の判断次第で、その後の対応と刀剣の運命が決まってくるのも事実である。

教育委員会・文化庁・警察庁のほか、刀剣業界の各団体が一堂に会し、登録証の問題について前向きに議論し、現状を改める時期にきているのではないかと思います。貴重な文化財である日本刀が、むざむざ溶解炉で溶かされることのないよう願っています。

この太刀には新たな登録証が発行されたので、警察署へ引き取りに行ってきました。問題が発生してから、既に一年数カ月が経過していました。

事例 27

福島県の昭和二十六年登録の脇指には反りの記載がなかった。そして、登録証発行年月日にも若干の違ひがあった。もちろん偽造登録証ではない。指示に従い、登録証のコピーを福島県にファクスで送付した。

数分後、電話がかかってきた。「これはですね、実は数多く問い合わせが来ている案件です！それで付箋がたくさん貼付されています！しかし、現物確認に至っておらず、今日まで未解決の...、そういう案件です！」

いささか興奮した口調であった。以前の所持者たちは、面倒な手続きを嫌ってすぐに転売し、手にした人が同じように問い合わせさせては「面倒だ」とまた手放して...と、不毛の歴史は繰り返されたのだらう。そして、今、縁あって手元にある。トランプのジョーカーさながらに。

しかし、刀には罪はない。現物確認依頼書を出すことになった。担当者は「それはありがたいです。そうしていただければ、当方も直ちに対処します！」

やはり興奮した口調であった。使命感に満ちた顔が見えるようだった。書類を、その日のうちに投函した。

しかし、待てど暮らせど、福島県からは何の連絡もなかった。電話をする、先日、電話で話をした担当者が来た。

「あー、そういうえば、そんな会話をしたような記憶がありません。何とも涼しげな口調であった。「こちらは書類を出しているんですが...お手紙も添えました」と言う、郵便受けに行ってみます」と担当者は電話を切った。

数分後、電話がかかってきた。「すみませんでした。未開封でした...丁寧なお手紙まで添えてくださって...」と言う。萎れたような口調であった。

さて、その後、東京都へ資料は回送され、都庁で現物確認を行った。都庁の職員が「福島県から後日、ご連絡があると思います」という、いつもの通りの展開。連絡を待っているうちに、日刀保の刀剣審査の申請日が来てしまった。やむなく旧登録証のまま、鑑定に出した。福島県から回答が来たのはその翌日であった。記載間違いを認め、「再交付手続きをする、ついでには旧登録証を返却してほしい」とあった。

早速電話をしたら、担当者は不在だった。鑑定に出してしまった事情を話し、登録証の返還はかなり遅くなる旨、伝言を頼んだ。当該刀剣を、日刀保から引き取ってきて、すぐに電話をかけた。担当者はやはり不在。伝言を頼んだ。「遅くなったけれども、指示に従い、〇月〇日付で登録証を返還するので、再交付をお願いいたします」と伝え、〇月〇日付の通知書と一緒に送付されていた特定記録

郵便の封筒で福島に送り返した。やはり手紙を添えて。待てど暮らせど、福島県から連絡はなかった。電話をする、今度は担当者が出てきた。他人事のような口調であった。しかも、経緯がまったくわからないらしく、た。手紙に「〇月〇日の通知書」と書いておいたのだが(もちろんわかりやすいように、という配慮)、その書類の内容がわからなくて、右往左往していたらしい。本紙の読者には、現状で登録証が付いていない心許なさをご理解いただけると思う。「不安だし、可及的速やかに対応してほしい」と言う、平謝りだった。

多忙だからなのだろう。しかも申請者と、実際に事務手続きを行った人物(私)とが異なっている、私の名前ではわからなかった、ということかもしれない。が明確に、登録番号を手紙にも書き、また電話で丁寧に経緯を説明し、しかも登録証そのものを送付しているのに、その案件についてのどのような取りがあったのか、まったく記憶がないというのが腑に落ちない。

「この登録証には付箋がびっしり貼付されており、長年の懸案です！」と情熱的な口調で語った人と同じ人物とは思えない感じだった。再交付に当たり、なおまた、上司から認印をもらわなくてはならないという。

「もう承認されているんじゃないですか？」という問いに、「はい、しかし、まー、いろいろあります...。手続きが煩雑でして...他県ではもっと手続きが厳しいところもあるようですよ、はあ」などとお茶を濁している。「わかりました。よろしくお願います」

本当に、登録証は送られてくるのだろうか。不安は募るばかりだった。業務日誌や番号で経緯を検索するシステム...いや、そんなものはないのだろうか。 (登録証問題研究会)

組合こよみ (平成30年1~2月)

- 1月16日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第46号編集委員会を開催(企画)。出席者、清水理事長・服部副理事長・嶋田専務理事・網取常務理事・飯田理事・正野理事・瀬下理事・松本理事・持田理事・深海顧問・土子氏
- 17日 東京美術倶楽部において全刀商特別交換会を開催。参加70名、出来高32,826,000円
- 21日 組合事務所において「刀剣評価鑑定士」認定試験につき打ち合わせ。出席者、清水理事長・服部副理事長・嶋田専務理事・土子氏・事務局2名
- 30日 全国美術商連合会に伊波副理事長が出席
- 31日 刀剣査定のため清水理事長と嶋田専務理事が公益財団法人日本美術刀剣保存協会を訪問
- 2月12日 東京美術倶楽部において「刀剣評価鑑定士」試験問題検討会議を開催。出席者、清水理事長・伊波副理事長・嶋田専務理事・土子氏
- 14日 伊波副理事長と嶋田専務理事が全国中小企業団体中央会を訪問
- 17日 東京美術倶楽部において組合交換会を開催。参加48名、出来高13,350,000円
- 17日 東京美術倶楽部において第4回理事会を開催。出席者、清水理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・嶋田専務理事・網取常務理事・飯田理事・大平理事・木村理事・猿田理事・正野理事・瀬下理事・松本理事・眞賀理事・赤沢監事・大西監事・土子氏
- 18日 刀剣査定のため清水理事長と嶋田専務理事が公益財団法人日本美術刀剣保存協会を訪問
- 19日 「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」幹事会に嶋田専務理事と土子氏が出席
- 28日 信和会セミナーに清水理事長と嶋田専務理事が出席

私が出会った珍品・逸品

瀬下明

舞鶴に若松図罽

素銅磨地据紋高彫象嵌色絵 銘如柳軒政長(花押) 縦六・七cm 横五・七cm



本紙第43号に菊池政長の柏樹に蟬図小柄を紹介させていただきました。今回は同じ作者の罽です。今年、平成最後の年であることも新元号元年でもあります。若松を背景に、鶴が天に向かって飛び立ってゆく図は、本年にふさわしくめでたいものです。それを金・銀・銅などの金属を用い、繊細な技術をもって色彩豊かに表現しています。江戸時代、この罽を刀に付けて晴れがましい祝いの席に赴こうとする者の思いが偲ばれます。

国宝「山鳥毛」のクラウドファンディングでふるさと納税体験

本紙第44号でも取り上げたが、岡山県瀬戸内市では備前一文字の



逸品、上杉謙信の愛刀と伝わる国宝「山鳥毛」の購入を、里帰りプロジェクトとして開始した。購入予算五億円は平成二十年導入の「ふるさと納税」、いわゆるクラウドファンディングである。賛同する一員として初参加してみた。私の条件は、個人、返礼品あり、ネット登録、クレジットカード利用である。

返礼による損得勘定が比較ネタとなり、一部で競争化され、微税本来の意義に疑問もあり、賛同しかねていた。しかし、刀剣業界に關わる者としては、この大きな決断に賛同しないわけにはいかない。そんな思いで、瀬戸内市ホームページを訪ねた。本プロジェクトをクリックすると、華やかな刀文と目標額、そして現在の寄附金額合計が画面に映る。目標額が大きいめか到達感はまだないが、億単位の寄附金額は日々更新され、目標へ向かう姿に美徳を感じる。せつ々しくの返礼品一覧をクリック。名産品ではなく刀剣に關

国宝の備前刀

「山鳥毛」4月にも購入

瀬戸内市 財源不足分は公費で

国宝の備前刀「太刀 無銘一文字(山鳥毛)」の購入資金の調達に取り組んできた瀬戸内市が、岡山県内の個人所有者と4月にも売



岡山県立博物館で公開された国宝の備前刀「太刀 無銘一文字(山鳥毛)」=2017年5月

買契約を結ぶ方針を固めたことが13日、分かった。太刀の購入費と施設整備費計6億円の財源には、ふるさと納税で寄せられた資金を充てるが、不足する約4億3千万円は市の貯金に当たって対応する。武久頭也市長が市議会全

瀬戸内市は、「山鳥毛」購入について新年度早々の所有者との契約を前提に一部財政調整基金を充

てる予算案を提出していたが、三月六日、これを撤回請求し、ふるさと納税で賄うこととした。

ズーム

山鳥毛 瀬戸内市を拠点とした備前刀の大流派・福岡一文字派の最高傑作と評される鎌倉時代中期の名刀で、戦国武将上杉謙信も愛用した。刃長79.5センチ、山鳥の羽毛を連想させる変化に富んだ刀文が特徴。1952年に国宝指定され、97年から岡山県立博物館が寄託を受けている。県内の個人所有者が2018年、瀬戸内市に5億円で売却を打診。市は里帰りプロジェクトを立ち上げ、購入資金の調達を進めている。

どの資金調達に着手し、1月末現在で約2億5400万円が寄せられている。返礼品などの経費を除き、充当できるのは約1億7千万円にとどまるが、所有者が早期の判断を望んでいることなどから、購入に踏み切る。市は、公費を投入する不足分を穴埋めするため、今年3月末を期限としていたふるさと納税の受け付けを1年間延長する。武久市長は「山鳥毛を手にする唯一無二の機会。公費の投入を避けられるよう、今後とも理解と協力を呼び掛けていきたい」としている。

（大河原三恵）

【山陽新聞】平成31年2月14日

わる検索をする。念のため申し上げるが、返礼品目的ではなく、参加記念に申請したい。

山鳥毛や刀職のデザインされたクリアファイルや押形、図書、DVD、現代刀匠による小刀・短刀。さらには山鳥毛写しの真剣まであり楽しい。取得に必要な寄附額と一般価格相当のポイント(寄附額の三〇%)が表示されている。やはり良い(楽しめる)品に興味が高くなっていく。賞格を決め「個人で寄附をするをクリックすると、次の手続き手順が表示される。

①インターネットの会員登録をする。②寄附申請で金額を入力。同時に返礼品用ポイントの確認とクレジット申請を行う。寄附が確認されるとポイントが付与される。③返礼品一覧を確認。ポイントは最長二年有効なようで、すぐに申請しなくてもよい。④登録メールアドレスに確認メールが届く。ネットではここまで。

そして、⑤受領証明書が郵送で到着。⑥確定申告を行う。⑦寄付金控除を受ける。⑧申請書は郵送、ファックスなど、また寄附は銀行振り込みなども可能。一週間ほどで寄附金受領証明書が、武久市長名のお礼状とともに瀬戸内市役所から郵送されてきた。寄附は五千円から可能で、手続きは意外に簡単である。もちろん「返礼なし」の方が簡単であるが、皆さまも記念に参加されてみてはいかがだろうか。

なお本紙発行時、平成三十一年の寄附は、本年三月ではなく翌年の確定申告に有効。さらにこの入稿までに、購入計画の繰り上げと寄付の期限延長など変化が見られた。詳しくは同市ホームページか、瀬戸内市役所秘書広報課 ☎ 〇八六九二四七〇九五にてご確認ください。(伊波賢一)

イベント・レポート

刀剣博物館 特別展「筑前左文字の名刀」

「圧巻の作品群、期待される気鋭の研究」

JR両国駅を降り、寒風にはためく国技館の力士職を右手に見ながら歩いていくと数分。大名公園の畔に刀剣博物館はある。左文字の特別展が開催されていると聞いて観覧した。今回は平日十一時というところだろうか、私を入れて十名ほどの来場者であった。週末は大勢の方々にぎわっているらしい。ほぼ数名、しかも見たことのあるような顔、いずれも男性という移転前からずっと隔世の感がある。

第二章は「左文字の名刀」。左文字の在銘の遺作の多くは短刀である。「左」筑州住左」と在銘の名品を初期から大成期まで一望できるというのほが、貴重な体験「また左文字か……」。贅沢な感想！

事。左文字は技量抜群、それ故師正宗に讒訴され、揚げ句の果てに鎌倉を追放されたとの異説。今で言うパワハラである。滑稽な説だが、左文字を相州伝屈指の名工として位置づけるべく、室町時代の刀剣人が知恵を絞った痕跡を物語るものと言えよう。展示品には在銘、年紀作も多々あった。貴重な銘字……しかし、暗くてよく見えなかった。年紀のある作については裏年紀を写真で示していたが、表の銘字も押形や写真で示せば、もっと楽しめたのではないだろうか。

さて、入り口の挨拶文を一読して進むと、江雪左文字の名刀が出迎えてくれた。力感みなぎる姿で、精良で詰み登んだ地鉄、刃文は抜群の照度を誇っている。拵にも桃山時代の雰囲気も充満している！感動で胸がいっぱいになり「あ、もうこれで帰ろうかな」とつい思ってしまったが、気を取り直し、第一章「筑前鍛冶の先達」へと進む。良西・入西・西蓮・実阿……「日本刀大鑑」などの図鑑で見ると、何となく作例が並んでいる！うれしくなった。

第三章は「左文字の門流」。安吉・行弘・国弘・吉貞……。いずれ劣らぬ名品。左文字の作風を継承し、新たな展開を遂げた弟子たちの生きた証である。特に面白かったのは、物部吉貞の太刀。物部氏といえば、古代武器武器を担い、石上神社の七支刀とも縁。蘇我氏と争った、あの豪族である。で、左二門の吉貞も物部、である。

ところで、今回、筆者の関心は左文字以外に、実はもう一つあった。談議所西蓮である。重要刀剣等図譜では「西蓮は、銘文から推して博多談議所に仕えた刀工と考えられる。この談議所とは鎮西所国吉法師西蓮／文保元年二月」の太刀を引いている。しかし年紀の当時、実は鎮西談議所は存在しない。その一方で、談議所(談義所)を仏教の法論・講義を行った寺などの施設とする論考があり、なるほど、良西・入西・西蓮・実阿の工銘は西方浄土との関わりを感じさせる。

刀工の長谷部国重・国信は雄略天皇の実名の長谷部(ハツセベ)に何か関係があるのだろうか……と常々考えてはいたが、この左吉貞と物部の問題もとても面白い。展示キャプションには「更なる検討が必要である」とあったが、研究の糸口はあるのか。

物部吉貞は京都国立博物館の寄託品らしい。ならば新進気鋭の、あの研究者先生(第四世代とか称しておられたか?)のご意見を伺ってみたいものだと思っ

古剣書で注目されたのは『正銘尽(能阿弥本)』(文明十五年奥書・刀剣博物館蔵)の正宗と左文字の記



「筑前左文字の名刀」展覧会場

録中にあった。福岡市博物館学芸課主査の堀本一繁氏の論考「左文字鍛冶発祥の歴史的背景」である。左文字以前の博多の政治的・

理事長就任のご挨拶

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当協会の活動にご理解ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。



平成31年1月29日開催の定時評議員会にて理事に選任され、併せて公益財団法人日本刀文化振興協会、3代目の理事長に就任しました。公益財団法人認定から10年の節目の年に理事長を拝命し、前身であります一般財団法人日本刀文化振興協会発足当初から運営に関わってきた者の一人として感慨深いものがあります。

4期8年にわたり当協会を運営してこられた本阿彌光洲前理事長には、衷心より感謝申し上げます次第です。

現在の刀剣界の実態に対応すべく、昨年より計画・実施してまいりました、現代の刀剣に真正の作品であることを公益財団法人として証明する「新作日本刀証明証」の発行事業、現代刀の名工であることを認める「日本刀名匠」認定制度も、この先10年、20年、いや50年先を見越して始めた事業であります。

この分野はまだ緒に就いたばかりであります。刀剣ファンをはじめ多くの皆さまに1日も早くその意義をご理解いただけるよう、理事長として尽力してまいります。

今後とも引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

まずは理事長就任のご挨拶まで。

敬具

平成31年 2月吉日
公益財団法人日本刀文化振興協会
理事長 吉原 國家



お客さまで賑わう「刀剣まつり」会場

一月十三日(日)と十四日(成人の日)の二日間、東京・浅草の都立産業文化センター台東館において、第一回「新春浅草刀剣まつり」が開催されました。

当組合員の清水敏行氏(大宮清水商会)が実行委員会を立ち上げて実現された新しいイベントです。清水氏は、「特に現代の若い世代の人たちに、日本刀の文化を紹介できる機会をつくり、一般の方々にも刀の世界を知っていただき、刀剣商業の発展につなげていきたい」という思いが、本催事の真意です」と述べています。

ちょうど一年前の正月から組合員に呼びかけて、賛同者を募りまして。私も趣旨に共感し、参加させていただきました。組合からは十数店舗が参加し、思い思いのスタイルでお客さまとのコミュニケーションの場を設けていました。

会期中、全刀商組合員の旗谷三男氏(刀剣はたや)が主宰する戸山流居合道誠斬会による抜刀演武も披露されました。二日間、計四回の演武には用意された席では間に合わないほど大勢の見学者が集まり、旗谷氏自ら演じる試斬に見入っていました。

ほかに東京浅草剣武会による演

舞も行われ、女性が扮する剣士のりりしい姿に会場からは熱い声援も送られていました。

第一回とはいえ、たくさんのお客さまが来場され、正月らしい賑やかな展示即売会でした。清水さんをはじめ、骨を折られた皆さま方ご苦労までした。(生野正)

第二回「新春浅草刀剣まつり」開催される

軍事的な状況、都市としての博多、鎮西談議所と博多談議所の問題を細々記し、西蓮や実阿、左文字らと博多時衆との関わりについて述べ、左は「左阿弥陀仏」「左阿」の略ではないかとする仮説を提唱している。

とても面白いと思った。

これで「左阿」とした作例や文献がもしあれば言うことはないので、果たして出てくるのだろうか。堀本論考に刺激された研究者、殊に福岡の方が地元ならではの資料に基づいて、さらに説得力のある論考を発表する可能性もある。楽しみである。(小島つとむ)

今日の俺の行き先は横浜市旭区、鞍部の森井敦央氏を訪ねる。往復路は国道1号でなく中原街道を選択。辻堂編で小野家からの帰路、うっかり自動車専用区間を走行しトラックの運転手から「コラー」と叱られたのだ。六十歳になっても「コラー」と叱られるのは俺くらいのもの。正月の駅伝はその交通を一時停めるが、今日の俺は道交法を守らなければ。駅伝と言え、当組合が取り組む刀剣評価鑑定士資格認定事業、この試験問題甲冑編に「第88回箱根駅伝で活躍した鎧匠哲哉選手が現在所属する実業団は？」旭化成②雪印メグミルク」を提案。名前に鎧が付いているからこんな問題を作ってみたが、あえなく却下。試験中に楽しくなってもう一つもりだったんだぞな。



白鞍を製作する森井敦央氏

非常にシリアスな言葉だが、これを語る森井氏のいでは三本線ジャージで、なんかスポーツマン調。森井氏と刀匠の吉田康隆氏の、見た目区別がつかないのが研師の阿部一紀氏。ここで阿部氏に一言アドバイス。ドイツのブンデスリーガで活躍するサッカー日本代表、武藤嘉紀選手に似ているのが森井さん、玉井親方に似ているのが吉田刀匠だ。

ジョーちゃんの
健脚商売
22

神奈川県横浜市 編



越後長岡藩家老山本帯刀家伝来の刀を愛蔵する金子さん

徳川家の菩提寺として知られる東京・芝の増上寺宝物殿で一月十二・二十六日、金子誠さんの個展「SAMURAI WAR ORY」が開かれていた。作品は、増上寺にもゆかりの法然上人像や家康しかみ像、篤姫像から、源義経、箱館戦争時の土方歳三・伊庭八郎、明治維新の西郷隆盛・勝海舟らの歴史上の人物、物語のヒーローまで幅広く。特殊な樹脂の素材から精緻に掘り出し、これに入念な彩色を施し、リアルに仕上げている。海外でも驚愕をもって高く評価されているmolding artistだ。最近では『解体新書』の翻訳者・杉田玄白像(関東大震災で焼失)を復元し、出身地の福井県小浜市に納めた。等身大の像制作の話も進んでいる。一九七四年宮崎県生まれ。東京工芸大学大学院修士課程修了。mail: whole8.6th@gmail.com



萩原の大笠松

木村美術刀剣店は、平成九年に群馬県高崎市問屋町に店を構えました。その後、同十八年に同市萩原町に移転し、現在に至ります。現所在地は、関越自動車道高崎インター出口より伊勢崎方面へ向かい、信号四つ目の角にあります。店の裏手には、萩原の大笠松があります。前橋城主酒井雅楽頭が愛蔵していた鉢植えを、八木家の祖先が拝領し、自宅の庭に移植して大切に育て上げたものだと言われています。

木の勢いは今も盛んで、木の成長に合わせて、八木家では今までに住宅を三回も後ろへ引き下げたといわれています。樹齢は四〇〇年以上といわれ、高さ約七メートル、枝張り約二〇メートルに達します。松を見るために、時折観光客が訪れています。

なお、当店の展示は在庫品の一部のみで、お客さまが所望する刀剣を教えていただければ、ご期待に沿うよう尽力したいと思っております。地方都市なのでお客さまも少なく、連絡を頂いた時だけ、店に向いております。

■木村美術刀剣店 0273-70000
13 群馬県高崎市萩原町四八四-1
☎0273-5211590

大笠松に見守られお客さまを待つ

刀剣商リレー訪問 28

木村義治さん(木村美術刀剣店)

使うスポーツで言うセッティングというやつだ。

組合員の山本一郎氏、同じ鞍師の広井章久氏、軽音楽の好きな二人がこの作業場を見たら、キーボードに囲まれたロックの巨人、キース・エマーソンを思い起こさせる。誰も知らないよな、こんな人。俺も広井さんも山本さんも年を取った。エマーソンは他界した。はい、駅伝もサッカーも相撲もロクも忘れ今日は静かに帰ります。

■連絡先 0274-210823 神奈川県横浜市旭区善部町三七七
☎090-6182-6975 (網取譲)

ブック・レビュー BOOK REVIEW

著名漫画家が描く目から鱗の日本刀 『単刀直入伝 刀譚剣記』 『一刀両断伝 珍刀譚変剣記』

黒鉄ヒロシ著 PHP研究所 各一、五二〇円(税込)



黒鉄ヒロシの『刀譚剣記』と『珍刀譚変剣記』を読みました。購入したのは「京のかたな」展をやっていた京都国立博物館の売店でした(今は「ミュージアムショップ」と言わないといけないらしい)。なぜか東京国立博物館では売っていない。京都国立博物館でも、刀剣特別展をやっているのに売れ残っている印象さえある。何しろ共に初版で、発行がそれぞれ二〇一五年十二月十七日、二〇一六年九月五日なので、二〇一六年九月五日なのですから。刀剣女子と言われる方々も、京都の名物刀剣を眺めた後、ぜひこの二冊を読んでいただきたい。黒鉄ヒロシという漫画家は、エッセイも実にうまい。もともと世の中に出てくるために漫画家になったのであって、本当はエッセイストになりたかったのではないかとすら思える。エッセイ集『千思万考』三部作を読んだ時にそう思った。

原をはじめ、各作家が黒鉄ヒロシを追っていたのか。その黒鉄ヒロシが刀剣について思い切り描いているのだから、つまらないわけがない。天下五劍の伝説の成り立ちから、後鳥羽上皇の菊御作の話、室町幕府十三代將軍・足利義輝の剣豪伝説、信長・秀吉・家康とその部下の名刀との関わり、といった面白い話が描かれています。小生が一番すごいと思ったのは、日本刀が硬軟の地鉄を使い完成に至るまでの経緯が描かれていることです。転写すべきではないのかもしれないですが、うまく書けそうにないので転写します。

『ここ』日本刀は、硬い外側の皮鉄、軟らかい内側の心鉄によって「鋭い切れ味と、折れず曲がらずの耐久性」という奇跡のような特性を得るに至った。先人の匠たちは、何故にかくも手間がかかり気の遠くなるような作業を繰り返した、奇跡の域に達することが出来たのか。謎を解く鍵は火力にあった。古代人が鉄を前にした時代、千数百年前の日本の火力は木炭(消し炭)であった。風を送れば火力が増すとの知識があった。風すなわち酸素であることまで識っていたかには不明だが、しばしば休まずフィゴを踏み続ければ火焰は大きく高く燃えあがった。それでも火力は千二百度が限界であったが、当時の西洋では既にコークスを発見していた。

コークスは千八百度にまで達するが、鉄の溶解点は丁度同じ温度である。つまりコークスを得た西洋人は、たやすく純度の高い鋼鉄を取り出すことが出来た。これを鋳型に流し込み、あとは磨けば剣の二丁上がりである。一方、千二百度の汗まみれ炭だらけの古代日本人が得られたモノは、半溶解でアメ状の未だ不純物いっぱい鉄であった。普通ならここで諦めて粗悪な剣を造ってオンマイとするところだが、古代日本人は違った。何とかしようと考案した。

匠の骨頂とは、決して諦めない、このしつこさのことではないかと睨む。古代の日本人はアメ状の表面の不純物を丹念に取り去ると、鋳型に流し固めた。この段階でとり敢えず銹鉄を得る。これにまた、石英粉と木炭粉を混ぜ込むとフィゴを踏まきり叩いて叩いて叩き重なる。ここまで作業で、炭素を多く含んだ鋼鉄の元、つまり玉鋼となる。ここで先述の外なる硬鉄、内なる軟鉄とする鉄饅頭を考案した。コークスを持つ古代西洋人は鋼鉄を手にし更なる努力は必要となかった。温度の不足は古代日本人に知恵を授けた。

これ以降も、日本人が鉄を取り出すと前のめりになる「しつこさ」を褒めている。小生も硬軟の鉄を合わせて造る日本刀のことは知っていたが、西洋のコークスを一緒に語るのにはビックリした。本当に他の本でコークスが出てくるものは、ないのだ。そんなことは常識だから書かなかったのかもしれないが、それでもこの本を読んでビックリしました。

ほかにも、名物刀剣がいかにか語り伝えられたのか、よくわかります。刀剣女子だけでなく、刀剣男子、刀剣商にも読んでいただきたい二冊です。(持田員宏)

昭和に始まり、平成年間を通じて改善を図りつつ継続開催してきた「大刀剣市」。新しい元号の下、その未来はどのような姿だろうか。斯界のこれからを担う若手刀剣商に、大刀剣市の現状、必要な改善点、あり方と将来像などについて忌憚なく語ってもらった。

特別座談会

未来のわれらの「大刀剣市」

昭和に始まり、平成年間を通じて改善を図りつつ継続開催してきた「大刀剣市」。新しい元号の下、その未来はどのような姿だろうか。斯界のこれからを担う若手刀剣商に、大刀剣市の現状、必要な改善点、あり方と将来像などについて忌憚なく語ってもらった。

【E】お店によって考えはいろいろだろうが、大刀剣市が売場の場だ、いいのかわからないテーマはある。刀剣女子は対象とするのかどうかは重要な点だと思う。

【F】実行委員会の負担軽減のために自前で写真を採用することに決めたが、品質のバラツキは致し方ない。保険を掛けた上で品物を送ってもらうとか、何らかの対策が課題だ。

【G】申請書の記入が十分でなく、校正の時に電話で確認を取るケースが多い。改善の余地はある。

【H】なるべくシンプルにして、基本レイアウトを選ばせることか、任せてもらうことかして負担を減らす。

【I】表紙は従来、ふさわしい品物を出品したお店にお願いしているが、いかがなものだろうか。

【J】同じ店舗を連続して掲載しないなどのルールを決め、公募してはどうだろうか。多ければ抽選にする。

【K】そろそろウェブカタログ化を検討する時期に来ているのではないかと。PDF化すれば、技術的には難しくない。

【L】紙とウェブと二本立てで行く。プライスカードにQRコードを付け、ホームページにアクセスできるようにしているお店があったが、今のカタログにQRコードを掲載するという方法もある。

【M】最後に、これからの大刀剣市とは、思い描く大刀剣市の理想の姿とは、それぞれのイメージを聞かせてほしい。

【N】規模は数倍、入場者数が二万人…。

【O】東京美術倶楽部を全館会場とする。

【P】広いワンフロアで開催するのも選択の一つ。東京ビッグサイトでのイベントを見ると、物販だけのものはない。講演やPR、飲食コーナーなど、さまざまな対象に合わせバラエティーを凝らしている。

【Q】入場者数が多いのは結構だが、混雑していて、品物をじっくり見られないし、危ない。新しいお客さまの入場を妨げている傾向もあるのではないかと。

【R】込んでいる時は二基のエレベーターに乗りきれない。

【S】一日一千五百人が限界ではないか。

日本刀 販売 買取 委託 (株)e-sword 平子誠之

古銭・切手・刀剣 売買 評価鑑定 (株)城南堂古美術店

日本刀の 名品・名刀を販売 店主 小暮 昇一

江戸屋 名品・名刀を販売 店主 小暮 昇一

ブック・レビュー BOOK REVIEW

表徴としての帯刀はいかにして廃されたか
『刀の明治維新「帯刀」は武士の特権か?』

尾脇秀和 著 吉川弘文館 定価(本体一、八〇〇円十税)

本紙第44号のこのコーナーで紹介した高橋昌明先生の『武士の成立—武士像の創出』(東京大学出版会)は、武士の発生・成長・展開について述べ、江戸時代の武士、維新後から現代の武士観に言及し、武士を通して日本の歴史の再考を挑んだ好著であった。

紹介文中、筆者は、『武士の日本史』で竹刀での剣道が盛んになったのが十九世紀江戸後期とされていることから、寛文新刀に竹刀の影響に根拠を求める通説がそもそも成り立たない可能性を考察し、寛文新刀が登場するのは、武術稽古以外に理由を探さなくてはならないのではないかと書いた。

『刀剣界』が出て数日後、うれしいことに反響があった! 購読者から電話がかかってきたのである。その人は「寛文新刀の反りの浅い理由は、この本を読むとわかるんじゃないかなあ」と、今回の書籍を紹介くださった。早速取り寄せてみた。

内容はかなり専門的である。それでも、読みやすいようにかみ砕いて書かれている。その中に「きつ刃と棒の様な刀」という項があった。ここで著者は『雑兵物語』を引用し、刀の反りについて論述している。

刀の明治維新



以前、今は亡き某国語学者に、秘境のような土地の方言の中に、意外にも京訛りがある事例を聞いたことがあったが、薩摩に古い時代の太刀さばきがそのまま

あるのはわかるのだが……。大きなお世話な承知で、あえて書くが、著者は、刀や拵などのお品そのものにも関心を持ってほしいと思った。そうしないと研究の幅が広がらないのではなからうか。著者は浮世草紙などの絵画史料を用いて、外装が細身、小型になると述べている箇所もあったが、実はあまり説得力を感じなかった。絵を参照しつつ、現物に触れるべきではないかと思っただ。

史料を丹念に集めて読み込むことは、文献史学の最も大切な作業である。しかし、現物が教えてくれることもまた少なくない。



衆議院第二議員会館会議室での幹事会

「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」の幹事会が二月十九日、衆議院第二議員会館会議室で開催され、加盟議員のほか、公益財団法人日本美術刀剣保存協会・公益財団法人日本刀文化振興協会・全日本刀匠会・全国刀剣商業協同組合の四団体から関係者が参加した。

加し、これまでの活動と今後の計画についての報告があった。同連盟は昨年二月に発足した。六月には文部科学省にて林芳正文部科学大臣(当時)と宮田亮平文化庁長官に面会し、「刀剣・和鉄文化の保存振興に向けた要望」を提出、その後もさまざまな活動を行ってきた。

大阪刀剣会 吉井唯夫 美術刀剣、小道具、武具類の売買、加工及び御相談承ります

「平成の名刀・名工展」受賞者一覧

Table with columns: 受賞名 (Award Name), 受賞者氏名 (Recipient Name), and a column for special awards. Lists winners for categories like '名工大賞', '名工準大賞', '特別奨励賞', '奨励賞', and '名工選'.

応募者数41名、入選者数32名。並びは受付順。(○印は55歳以下)

「平成の名刀・名工展」会場・会期 林原美術館 5月18日(土)~7月7日(日) 刀剣博物館 8月24日(土)~10月6日(日) 坂城町鉄の展示館 11月9日(土)~2月2日(日)

催事情報

■都城歴史資料館

〒885-0083 宮崎県都城市都島町803 (城山公園内)
☎0986-25-8011 <http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp>

企画展「刀 to 鏡～inisienobi～」

わが国を代表する美術工芸品である「刀と和鏡」。本展では、京の刀工で、鎌倉時代中期の名工として知られる二字国俊の太刀、江戸時代の刀工で新刀の開拓者と呼ばれる国広の刀、神社に奉納された太刀や都城の刀工が製作した刀とともに、江戸時代末期、都城で行われていた刀剣鑑定に関する文書などを展示します。また、円鏡や柄鏡を展示し、「鉄の芸術」の魅力をお伝えします。

会期：3月8日(金)～4月21日(日) 月曜休館

関連行事：刀剣講座「日本刀の魅力」 3月24日(日)14:00～16:00

※詳細は都城市教育委員会文化財課 (☎0986-23-9547) まで



■備前長船刀剣博物館

〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船966 ☎0869-66-7767
<http://www.city.setouchi.lg.jp/token/>

テーマ展「秀麗なる備前刀の世界」

備前国(および美作)・備中国・備後国に分割されるまで吉備国と呼ばれたこの地域は、「真金吹く」と枕詞に謳われたほどの鉄生産地であり、その中でも、備前国を南北に流れる吉井川下流域は、古刀期(平安～安土桃山時代)を中心に、刀剣製作の中心地として栄えました。その間に、古備前派・一文字派・長船派などの流派の消長がありました。

友成・正恒に代表される古備前派は、平安時代から今日まで続く備前刀の始まりと言われ、備前刀の基礎を確立しました。鎌倉時代には、茎に「一」を刻む一文字派が誕生しました。後鳥羽上皇が鎌倉時代初期に定めた「御番鍛冶」には、福岡一文字派から、その祖と言われる則宗をはじめ、宗吉・助宗ら7名が選ばれるなど、刀工の名声が高まりました。長船派は、鎌倉時代中期に興ります。光忠を実質的な祖とし、長光・景光・兼光の4代によって培われた技術により、備前刀の主流となり、日本最大の流派として栄えました。

それぞれの時代や流派の刀匠が精魂込めて鍛錬した備前刀の洗練された姿、鍛えられた地鉄、美しい刃文等をご鑑賞いただき、伝統技術を今に伝える美術工芸品としての日本刀に対する理解を深めていただく一助となれば幸いです。

会期：2月16日(土)～4月21日(日) 月曜・祝日の翌日休館

■森記念秋水美術館

〒930-0066 富山市千石町1-3-6 ☎076-425-5700
<http://www.mori-shusui-museum.jp/>

備前刀 一用と美の系譜

吉備国は現在の岡山県全域と広島県東部、兵庫県西部にまたがる古代国家です。吉備の枕詞として知られる「真金吹く」が示すように、古来より鉄の産地として知られています。奈良時代には律令制に基づき備前・備中・備後・美作の4カ国に分けられましたが、中でも備前国は大きな刀剣の産地として栄えました。

平安時代中期から後期にかけて「日本刀」と呼ばれる形式の刀剣が完成すると、備前に友成や正恒らの刀工が現れました。それ以降、吉井川の流域を中心に多くの鍛冶が居住し、中世には全国最大の刀剣生産量となりました。約500年間にわたるさまざまな鍛冶や流派の消長は、現存する備前刀に多くの紀年銘が残されていることから、その一貫した流れを知ることができ、研究の上でも非常に重要な役割を果たしています。

本展では、所蔵する備前刀を年代や流派に分けて展示し、刀工や作品の変遷をたどり、備前刀の美と見どころをわかりやすくご紹介いたします。美しい地鉄と明るく冴えた刃文、春霞のような映りなど備前刀の魅力を、この機会にご覧ください。

会期：12月21日(金)～5月26日(日) 前後期の展示替えあり



■静嘉堂文庫美術館

〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-23-1 ☎03-5777-8600(ハローダイヤル)
<http://www.seikado.or.jp/>

日本刀の華 備前刀

日本刀の主要製作地(山城・大和・備前・相模・美濃)のうち、備前(岡山県南東部)は、上質な原料や水運の利に恵まれ、平安時代より優れた刀工を輩出し、圧倒的な生産量を誇ったことから、今日「刀剣王国」と称されています。備前刀の特徴は、「腰反り」の力強い姿と、杢目を主体とした精緻な地鉄に、「丁子乱れ」と呼ばれる変化に富んだ刃文とされています。その豪壮にして華やかな作風は、鎌倉武士や戦国武将たちをはじめ、多くの人々を魅了してきました。

本展では、「備前刀の宝庫」として知られる静嘉堂の蔵刀を中心に、重要文化財4振、重要美術品11振を含む在銘作約30振を精選し、「古備前」と呼ばれる初期の刀工群から、一文字・長船・畠田・吉井・鶴飼など各流派による作風の展開をたどっていきます。あわせて、江戸時代に幕府の御用をつとめた後藤家歴代とその門流(脇後藤)による刀装具を展示します。さらに国宝「曜変天目(「稲葉天目」)」を特別出品します。

会期：4月13日(土)～6月2日(日) 月曜休館(ただし4月29日・5月6日は開館)、5月7日(火)

■古河歴史博物館

〒306-0033 茨城県古河市中央町3-10-56 ☎0280-22-5211
<https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/lifetop/kogameguri/art/3/3874.html>

備前刀の伝統 —鎌倉時代から現代まで—

備前国は中国山脈から最も良質な砂鉄を豊富に産出したことから、平安時代後期～鎌倉時代に古備前と称する一群の刀工が活躍し、以後この地の福岡・長船・吉岡・畠田・片山・大宮・吉井・宇甘などに名工が輩出して繁栄を極めました。

今回の展示は、鎌倉時代から室町時代までの備前刀の名品と、江戸時代の名工の備前伝の作品、そして情熱あふれる現代刀匠の備前伝の力作まで、一つの流れとしてその伝統を鑑賞いただけるよう企画しました。

会期：3月16日(土)～5月6日(月) 4月25・26日休館



■大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32 TEL:06-6946-5728
<http://www.mus-his.city.osaka.jp/index.html>

特集展示「なにわ人物誌 三好木屑」

三好木屑(彌次兵衛、1874～1942)は、祖父の代から三代にわたり活動した大阪の指物師で、也二、知孫の号でも知られます。二十代のころには茶道具の収集で知られた豪商・千草屋へ通い、同家が所有する茶道具の棚を詳細に調査して自身の指物製作に活かしました。また千草屋の当主であった平瀬露香(1839～1908)の薫陶を受けて、茶道・煎茶・書画・和歌・漢詩・俳句など幅広く芸道の修養を積みみました。

木屑の仕事で特筆すべきは、指物師でありながら髹漆・時絵などの漆作品の製作に積極的に挑み、成功させたことでしょうか。帝室技芸員・柴田是真(1807～91)が復活させたことで知られる青海は波塗や砂張塗などの、あたかも金属のように見える漆の塗布技法などを会得し、さまざまな道具類を製作しました。しかしこれらの漆作品の製作は、木屑にとってはあくまでも「余技」でした。

本展は、昭和戦前期までの大阪を舞台に活躍した指物師・三好木屑の歩みを振り返る初めての展覧会です。

会期：3月20日(水)～5月6日(月・振休) 火曜休館。ただし4月30日は開館



三好木屑作仁清写鶴香合

■奈良国立博物館

〒630-8213 奈良市登大路町50 ハローダイヤル050-5542-8600
<https://www.narahaku.go.jp/index.html>

特別展「国宝の殿堂 藤田美術館展

—曜変天目茶碗と仏教美術のきらめき—

大阪市の中心部にある藤田美術館は、国宝9件、重要文化財53件を含む世界屈指の日本・東洋美術のコレクションを所蔵する美術館です。明治期に活躍した実業家・藤田傳三郎(1841～1912)とその息子平太郎・徳次郎の二代3人によって収集された美術工芸品を公開するため、昭和29年に開館しました。

約2,000点におよぶコレクションは、茶道具・水墨画・墨蹟・能装束・絵巻・仏像・仏画・経典・仏教工芸・考古資料など多岐にわたり、その中には奈良にゆかりのある仏教美術が数多く含まれています。この度の展覧会は、2022年春に予定されるリニューアルオープンの準備に向けて現在休館している藤田美術館の名品を、奈良国立博物館新館の全展示室を使用して紹介するかつてない規模の展示となります。

世界に三碗しか存在しないとされる国宝「曜変天目茶碗」をはじめ「玄奘三蔵絵」「両部大経感得図」「仏功德時絵経箱」などの仏教美術を中心に、館外初公開を含む多彩なコレクションを紹介します。

膨大な私財を投じて、近代以降散逸の危機にあった文化財を収集し、国宝の殿堂と呼ぶにふさわしいコレクションを築いた藤田傳三郎らの功績にも光を当てていきます。

会期：4月13日(土)～6月9日(日) 月曜・5月7日(火)休館。ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館

■五島美術館

〒158-8510 東京都世田谷区上野毛3-9-25 ☎03-5777-8600
<https://www.gotoh-museum.or.jp/>

「日本の刀剣」特集展示

太刀 吉家作/太刀 正恒/太刀 恒光/太刀 国吉/刀 無銘 来国光/短刀 無銘 当麻/脇指 無銘 貞宗/短刀 金重/脇指 藤嶋/短刀 城州住国広 慶長十三二月日/刀 長曾祢虎徹入道興里

会期：2月23日(土)～3月31日(日) 月曜休館

■東京国立博物館

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 ☎03-5777-8600(ハローダイヤル)
<https://www.tnm.jp/>

本館1階13室 鎌倉時代の京都・来派の刀工、来光包による短刀、相州正宗の代表作である名物「観世正宗」など、鎌倉時代から江戸時代に至る、各国の代表的な流派の刀剣16口を展示します。また、刀装具は2月26日より、室町時代から近代に至る、梅や桜など冬から春への展示期間にふさわしい題材の鐔・小道具を展示します。

会期：2月19日(火)～5月12日(日)